

資料目次

- ・ 京都ノートルダム女子大学 3つの方針 資料1
(ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシー)
 - 福祉生活デザイン学科
 - 心理学科
 - こども教育学科

- ・ NDカリキュラム・マップ 資料2
 - 福祉生活デザイン学科
 - 心理学科
 - こども教育学科

- ・ 定年に関する規程 資料3
 - 京都ノートルダム女子大学就業規則
 - 京都ノートルダム女子特任教員規程

- ・ 履修モデル 資料4
 - 福祉生活デザイン学科
 - 心理学科
 - こども教育学科

- ・ 時間割表 (現代人間学部) 資料5

- ・ 実習受入承諾書及び実習施設一覧 資料6

- ・ 教員ごとの科目担当時間割 資料7
 - 福祉生活デザイン学科
 - 心理学科
 - こども教育学科

京都市立女子大学 3つの方針

【参考】全学共通部分（学則第1条…「深く専門の学芸を教授研究」「カトリック精神及び日本文化の優れた伝統を体し、教養高き女性を育成」）

4年間で育てたい力 (ND6)		ディプロマポリシー (学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学者受入れ方針)
<p>目指すべき人材像</p> <p>キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取り、自立・自律した健康な女性</p>	<p>キリスト教精神・女性教育</p> <p>DP1. 自分を育てる力</p>	<p>キリスト教精神に基づいて他者と自分を尊ぶ全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取り、自立・自律した健康な女性として健康に生きていく態度を身につけている。</p>	<p>共通教育科目では、キリスト教精神に基づき全人的な「常識」と「良識」を育てるためのベースとなる「カトリック教育」に関する科目を1・2年次に配置し、必修および選択必修を合わせて5単位以上とする。さらに、自立・自律した女性として健康に生きていく態度を身につけるための「女性」および「健康」に関する選択科目を配置する。</p>	<p>(各学科で設定)</p>
<p>人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養、それを基にさらに新しい事柄を理解する力を身につけている。</p>	<p>DP2. 知識・理解力</p>	<p>人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養、それを基にさらに新しい事柄を理解する力を身につけている。</p>	<p>共通教育科目では、幅広い知識と教養を身につけるため「人間と文化」「生活と社会」「人間と自然」の3領域からなる教養科目を配置し、各領域2単位以上を選択必修とする。(さらなる専門的知識とその理解力を養うため、各学部学科の専門領域の概論等に関する科目を配置する。)</p>	<p>(各学科で設定)</p>
<p>グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性</p>	<p>DP3. 言語力</p>	<p>国籍や言語の異なる人々と共に生きていくために必要な、日本語および外国語でのコミュニケーションスキルと読み書き能力を身につけている。</p>	<p>共通教育科目では、言語コミュニケーションスキルと読み書き能力を育成するため、1年次から3年次にかけて、英語および他の言語についての科目を継続的に学べるように段階的に配置する。特に1～2年次では英語、英語以外の言語とともに週2回授業を行い定着を図る。(さらに、専門性に応じた言語力を育成するため、各学部学科の専門教育科目を配置する。)</p>	<p>(各学科で設定)</p>
<p>現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的・論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性</p>	<p>DP4. 思考・解決力</p>	<p>現代社会のさまざまな課題に対して、分析、情報処理を行い、批判的・論理的な思考によって解決しようとする力を身につけている。</p>	<p>共通教育科目では、情報処理の基礎を学ぶため1年次必修の「情報演習Ⅰ」のほか、批判的・論理的な思考を身につけるための選択科目を配置する。(現代社会のさまざまな課題を解決するための思考力・問題解決力を育成するため、各学部各学科の専門教育科目を配置する。)</p>	<p>(各学科で設定)</p>
<p>他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性</p>	<p>DP5. 共生・協働する力</p>	<p>さまざまな他者と共生・協働するために必要な力を身につけている。</p>	<p>共通教育科目では、さまざまな他者と社会の中で共生・協働するために必要な力を身につけるため、「ボランティア」に関する科目等を配置している。(さらに必要な知識や理論を学べるように、各学部共通科目や各学科の専門教育科目に多くの科目を配置している。)</p>	<p>(各学科で設定)</p>
<p>総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性</p>	<p>DP6. 創造・発信力</p>	<p>総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信することができる。(専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信することができる。)</p>	<p>共通教育科目では、実践的に自らの学修成果を社会で活かす力を身につけるため、「インターンシップ」などキャリア形成に関する科目を配置する。(さらに各学部各学科の専門教育科目では、4年間の学修成果をまとめ、創造的に発信する力を育成する卒業研究等の科目を配置する。)</p>	<p>(各学科で設定)</p>

【現代人間学部 福祉生活デザイン学科】

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)		ディプロマポリシー (学位授与方針)		カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学者受入れ方針)
	キリスト教精神・自己研鑽への態度	DP1. 自分を育てる力	自己研鑽への態度	より良い生活や地域社会の実現に貢献するため、自己研鑽に努めることができる。		
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取り、自ら自立・自律した健康な女性	キリスト教精神・女性教育	DP1. 自分を育てる力	自己研鑽への態度	より良い生活や地域社会の実現に貢献するため、自己研鑽に努めることができる。	共通教育科目の「カトリック教育 および「女性」「健康」に関する選択科目により、キリスト教精神に基づく全人的な「常識」と「良識」、さらには自立・自律した女性性として健康に生きていく能力を身につけながら、社会に貢献していきけるよう自分の見識、能力を高めるための意欲や学びの技術、学修への態度を養成するための初年次教育としての「福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ」を1年次前期に配置するとともに、「現場体験を通じて自己のキャリア形成意欲を高めるため」「福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ」(1年次後期)、「福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ」(2年次前期)を順次配置するとともに、3年次に配置された「福祉生活デザイン特論」の中で自己の描くキャリアを具体化させていくための知識、態度を養成する。	1. (期待する能力) 社会に貢献できるよう自分を高めたいと考え、自分の生活や人生を主体的に築いていく意欲をもっている。 (受け入れ) 面接、書類、筆記
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己啓蒙に努める女性	知識・理解	DP2. 知識・理解力	知識・技能の習得	衣食住や家族、福祉に関する幅広い知識・技能を身につけている。	現代社会に福祉を前提とした生活の基本的な知識や考え方を理解するために、衣食住、家族、福祉に関する基礎科目5科目を1年次に配置する。同時に基礎的知識を裏付けるため、福祉を含めた生活の基礎的技術や地域や福祉、企業等の現場を体験する「福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ」「福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ」を配置する。そのうえでさらなる生活や福祉の専門的知識を身につけるために展開科目、関連科目の専門科目群を配置する。	2. (期待する能力) 入学後の就学に必要な基礎学力としての知識や理解力を有することともに、家族や個人的に必要となる衣食住、福祉について、自ら積極的に学び知識を身につけたいと考えている。 (受け入れ) 学力試験、小論文、筆記、書類
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性	汎用的技能	DP3. 言語力	言語活用能力 (コミュニケーション力)	相手の立場を考えながら、場に応じて適切なコミュニケーションができる力をつけている。	共通教育において多言語に関する能力を養いながら、社会問題に関して議論する(「福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ」)、特定テーマについてグループでコミュニケーションをばかしながら協同で探究する(「福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ」)などの目的で必修科目を配置する。	3. (期待する能力) 学んだ知識や技術を用いて、積極的に他者とかかわるということに関心がある。 (受け入れ) 面接、書類、筆記
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性	問題解決能力	DP4. 思考・解決力	クリティカルシンキング 問題解決能力	生活のあり方や生活課題の本質を探り、より良い方向を見出す力を身につけている。 身に着けた衣食住や福祉の専門的な知識と技術を自他の生活課題を解決するために活用できる。	専門基礎科目(1年次必修 5科目)で身につけた基礎的知識を基盤に、単なる知識にとどまらず、生活とその支援をめぐる諸問題について、課題の本質を見極め解決に向けた考え方や方法を身に着ける力を養うことを目的とした「展開科目」を衣食住、福祉の各分野で配置する。	4. (期待する能力) 生活や福祉に関心を持ち、身につけた知識や技能を、生活をより良くするための役に立てる力を身につけたいと思っている。 (受け入れ) 面接、書類、筆記
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生、協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	態度・志向性	DP5. 共生・協働する力	共感する力 協働する力	他者に共感でき、生活困難者に寄り添う態度が身についている。 地域や福祉の現場で他職種と協働しながらかわる支え者としての技術を身につけている。	地域の生活や福祉の現場、企業活動の最前線で体験し共感(「福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ」)したことを元、特定テーマを立てて共同研究、共同発表する(「福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ」)ため、2年次必修の基礎科目群を配置する。それを引き継ぎ、共感、協働の場として「展開科目」「関連科目」に生活や福祉に関する実習科目を配置するとともに、専門ゼミで各専門分野に関する課題の現状に触れ、ゼミ単位で協働の機会をもつために3年次に「福祉生活デザイン特論」を配置する。	5. (期待する能力) 周りと協力しながら、相手の立場に立って物事を考えようと努力し、行動したいと考えている。 (受け入れ) 面接、書類、筆記
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	統合的な学修経験と総合的思考力	DP6. 創造・発信力	情報・発信力 創造力	自他の課題解決のための情報収集ができ、必要に応じて発信やプレゼンテーションができる。 身につけた知識や技術を応用し、生活をめぐる新たなこと、物を作り出していく力を身につけている。	情報収集、発信のための知識や技術を修得し、さら身に着けた知識や技術を活用して新たな提案や作品を行うために、1年次から4年次わたり、基幹科目から専門演習・卒業研究までの必修科目群を配置する。	6. (期待する能力) より良い生活の創造に関わり、自分の考えを発信したいと考えている。 (受け入れ) 面接、書類、筆記

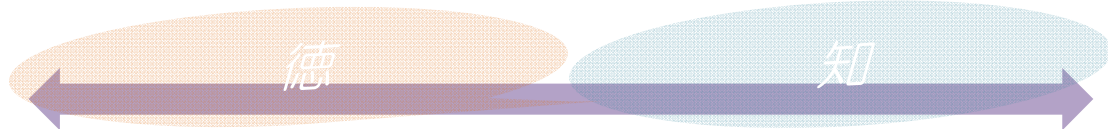
【現代人間学部 心理学科】

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)	ディプロマポリシー (学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学者受入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立・自律した健康な女性	キリスト教精神・女性教育 DP 1. 自分を育てる力	キリスト教精神に基づいて豊かな人間性と奉仕の精神を養い、社会の安寧と人々の幸福の実現に貢献できる態度を身につけている。	共通教育科目におけるキリスト教精神や女性の生き方についての学びに加えて、現代社会における豊かな人間性と奉仕の精神について学ぶが、現代人間文化学部共通科目を1年次に配置する。	豊かな人間性、および、自己成長への意欲と他者の理解や奉仕の精神を備えている人。
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	DP 2. 知識・理解力	心理学およびその関連領域についての基礎知識、およびそれを基にさらに新しい事柄を理解する力を身につけている。	専門展開科目として、「基礎心理」「生涯発達心理」「社会・産業心理」「臨床心理・精神医学」の4領域の知識・理解に関する科目を、さらに専門関連科目として、「精神保健福祉」「社会・ビジネス」の知識・理解に関する科目を配置する。	心理学およびその関連領域について知識や技能を習得し、科学的分析と深い人間理解に基づいて、現代社会の要請に応じた実践的問題解決能力や産業界で活躍できる力を身につけたい人。
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性	DP 3. 言語力	多様化、複雑化する現代社会が抱える諸問題を心理学的視野から解決へと導くために、日本語および外国語でのコミュニケーションスキルと読み書き能力を身につけている。	共通教育科目で学ぶが、世界の様々な言語の学修に加え、専門基礎科目に、心理学専門の英語と日本語の理解・活用に関する科目を配置する。	さまざまな文化背景をもつ人々や社会に対して、純粋な関心と偏見なく理解する姿勢を持ち、母語や外国語によるコミュニケーションを通じた心の理解への意欲を持っている人。
現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性	DP 4. 思考・解決力	現代社会のさまざまな課題に対して、人間の心と行動に関する情報を収集・分析する科学的技能と論理的思考力を身につけている。	専門基礎科目に、心理学研究法、心理統計、心理実験、心理テストなど心理学的な思考・解決力を身につけるための科目を配置する。	人間の思考や行動、人間関係や社会構造に興味を持ち、心理学への学習意欲や問題探求心に優れ、様々な問題や事象について論理的に考え、解決策を追求することに熱意がある人。
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	DP 5. 共生・協働する力	一人ひとりの人間をかけがえのない存在として尊び、病見・者、障がい見・者を含むさまざまな人々とコミュニケーションを図り、理解を深め、協働することができ実践力を身につけている。	社会で不利な立場におかれた人々を含むさまざまな人々の心理を理解し、心理カウンセリングや社会・ビジネス心理の観点から、人々との共生・協働のありかたについて学ぶ科目を、専門展開科目および専門関連科目に配置している。	人の個別性を理解・尊重し、ともに成長とともに生活する姿勢を備え、現代社会に生きる人々が抱える心理的諸問題の解決と支援に貢献したいと考える人。
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	DP 6. 創造・発信力	専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、得られた分析結果から新たな価値を創造する力、および心の諸問題に対して適切に判断し対処する力を身につけている。	心理カウンセリングや社会・ビジネスのフィールドでの研修を行い、実践的に自らの学修成果を社会活動に位置づける科目や、心理学の学修成果をまとめ、創造的に発信する力を育てる、心理学演習、卒業研究等の科目を配置する。	心理学の学びを通して、現代社会における諸問題について、新たな発想での気づきや提案をしていく意欲のある人。 心理学の学びを通じて、公認心理師、臨床心理士、認定心理士、精神保健福祉士、社会調査士、情報処理士、認定心理士(心理調査)といった資格を取得し、将来その資格を活かした職業に就きたい人。

【現代人間学部 こども教育学科】

目指すべき人材像	4年間で育てたい力 (ND6)	ディプロマポリシー (学位授与方針)	カリキュラムポリシー (教育課程編成・実施方針)	アドミッションポリシー (入学者受入れ方針)
キリスト教精神に基づいて、他者と自分を尊び、全人的な「常識」と「良識」を備え、自由に自分の人生を選び取っていく自立・自律した健康な女性	DP 1. 自分を育てる力	キリスト教精神に基づいた豊かな人間性と奉仕の精神を養うとともに、教育者として、職業的役割を自覚し、子どもの教育に貢献できる態度を身につけている。	キリスト教精神や女性の生き方についての学びや現代社会における豊かな人間性と奉仕の精神について学ぶことに加え、学科専門科目として「教師論」、「保育者論」を設置する。	(期待する能力) 教育や保育に携わる人間として、関連する知識や技能を習得するのみならず、良好な人間関係を築き、また、築かせることのできる人 (受け入れ) 面接、自己記入書、調査書における進路指導・道徳教育の記録
人間やその生活、社会、自然のすべてについての幅広い知識と教養を身につけ、新たな理解を行い、自己涵養に努める女性	DP 2. 知識・理解力	教育や保育、およびその関連領域についての基礎知識、およびそれを基にさらに新しい教育や保育に関する事柄を理解する力を身につけている。	専門基礎科目として、「こども教育基礎演習」、「子ども教育フィールド演習」、「教育原理」、「保育原理」、「特別支援教育基礎理論」等の教育・保育に関する基礎的科目を配置する。	(期待する能力) 多くの学問や人間と関わり、積極的に他者を理解しようとする人。 (受け入れ) 調査書、学力試験、小論文
グローバル化の時代に対応し、外国語および日本語で、国籍や言語の異なる人々とも円滑にコミュニケーションを行うスキルや外国語を読み書きできる力を身につけた女性	DP 3. 言語力	教育や保育領域のグローバル化、また、日本語を母国語としない子どもや家庭に対して、日本語および外国語でのコミュニケーションスキルと読み書き能力を身につけている。	共通教育科目で学ぶ、多様な言語の学修に加え、小学校科目群に小学校英語教育、学科共通科目群にこども英語教育などを配置する。	(期待する能力) 一人ひとりの言語力の相違に気付き、一人ひとりの個性に応じた対応をしようとする人。 (受け入れ) 調査書、資格、学力試験、小論文、面接
汎用的技能 現代社会のさまざまな課題に対して、知識や現象を分析し、適切な情報処理を行って、批判的、論理的に思考し、問題解決を行う力を身につけた女性	DP 4. 思考・解決力	教育や保育に関するさまざまな課題に対して、情報を収集・分析する科学的技能と論理的思考力を身につけている。	各教科の指導法、また、保育内容等の科目を設置し、教育や保育における問題場面において、知識・理解をもとに、問題解決する力を育てる。	(期待する能力) 自分の考えだけでなく、人の考えを聞き、また深く考え、問題があっても解決しようとする力のある人。 (受け入れ) 面接、自己記入書、学力試験、小論文、調査書
他者に心を開き、社会で不利な立場におかれた人々を含む、さまざまな人々と共生・協働する力を身につけ、すべての人が幸せに生きていくことに貢献する力を身につけた女性	DP 5. 共生・協働する力	教育や保育現場で関わる全てのの人たちと、よりよい子どもの成長を支えるために、共生・協働する力を身につけている。	教育、保育の対象である子どもの中には、さまざまな特性を持った子どもがいる。また、さまざまな価値観を抱く保護者などもある。さらには、教育、保育の現場では連携・協力なども求められることから、それらの人々との共生・協働のありかたについて学ぶ科目を配置する。	(期待する能力) 共生し、協働しながら困難に立ち向かうことで何かを成し遂げようとする人 (受け入れ) 自己記入書、面接、調査書
総合的な学修経験を行って、実践的に、他者や社会に対して、自らの学修成果を発信する女性。また、専門知識を基盤に、自ら立てたテーマに基づき研究に取り組み、学修成果をまとめ、創造的に発信する女性	DP 6. 創造・発信力	教育や保育に関する自らの疑問や課題に基づき研究に取り組み、客観的な分析を通して、教育や保育の諸問題について、適切に判断する力を身につけている。	3年次、4年次の教育実習、その後の、教職実践演習、保育・教職実践演習、さらには、卒業論文等で、自らの学習について成果をまとめ、創造的に発信する力を育てる。	(期待する能力) 様々な想像をし、意見を交換することで、更に想像力を発揮できる人 (受け入れ) 面接、プレゼンテーション、調査書、学力試験、小論文

NDカリキュラム・マップ (現代人間学部 福祉生活デザイン学科)



		DP1		DP2		DP3		DP4		DP5		DP6			
↑															

入学前教育

NDカリキュラム・マップ (現代人間学部 心理学科)



	DP1		DP2		DP3		DP4		DP5		DP6		



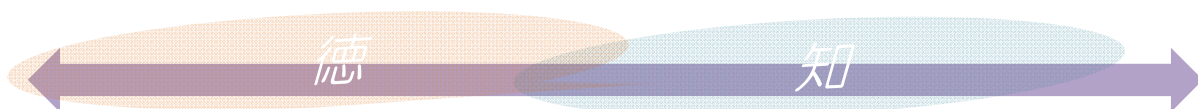
精神保健福祉援助実習 I
精神保健福祉援助実習 II
精神保健福祉援助実習 III

通年
通年
通年

通年

入学前教育

NDカリキュラム・マップ (現代人間学部 こども教育学科)



		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6
							a
							b

入学前教育

京都ノートルダム女子大学就業規則

第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、京都ノートルダム女子大学（以下「大学」という。）の教職員の就業に関することを定める。

2 教職員の就業に関する事項は、労働基準法その他の法令に定めのあるものの他、この規則による。

(教職員の定義)

第2条 この規則において、教職員とは、専任の教員及び一般職員をいう。

2 教員は教授、准教授、講師及び助教とし、一般職員は事務職員及び技術職員とする。

(遵守義務)

第3条 教職員は、大学設立の基本理念であるカトリック精神を遵奉し、その伝統を重んじ、秩序を守り、忠実にその職責を果たすことに常に努力しなければならない。

2 大学及び教職員は、この規則を誠実に遵守し、相協力してその実行に努めなければならない。

3 大学において、教職員の基本的人権は尊重されなければならない。

第2章 人事

第1節 任免

(任免)

第4条 教職員の任免その他人事に関する事項は、学校法人ノートルダム女学院理事長がこれを行う。ただし、理事長は、そのうちの一部を学長に委任することがある。

2 教員の任免については、京都ノートルダム女子大学管理運営会議の議を経て行うものとする。

第2節 採用

(採用)

第5条 教職員の採用は、選考により行う。ただし、教員の選考にあっては、別に定める京都ノートルダム女子大学教員選考基準によるものとする。

(提出書類)

第6条 教職員は、採用の際、次の各号に掲げる書類を学長に提出するものとする。ただし、必要がないと認められるものは、提出を要しない。

(1) 履歴書

(2) 住民票記載事項証明書（外国籍の場合は、在留カード、特別永住者証明書のいずれかの写し）

(3) 健康診断書

(4) 卒業証明書

(5) 資格に関する証明書

- (6) 個人番号カード、通知カードのいずれかの写し
 - (7) その他特に必要と認める書類
- 2 前項第6号で取得する個人番号は、次の各号の目的のために利用する。
- (1) 給与所得・退職所得に係る源泉徴収票作成事務
 - (2) 私学共済の短期給付、厚生年金、国民年金第3号被保険者関係の届出事務
 - (3) 雇用保険関係届出事務
 - (4) その他前3号の事務に関連する事務
- 3 第1項第6号に規定する書類の提出の際、身元確認のために写真付身分証明書の提示又は写しを求めることがある。
- 4 第1項に規定する書類の記載事項に異動を生じた場合は、その都度15日以内に書面で届け出なければならない。

(試用期間)

第7条 新たに採用された教職員に対しては、6ヵ月間の試用期間を設けることがある。

- 2 試用期間中又は試用期間満了の際、引き続き勤務させることを不相当と認めるときは、第18条に規定する手続きを経て解職することができる。ただし、試用開始以後14日を超えない期間に解職する場合は、この限りでない。

(辞令交付)

第8条 教職員の任免その他の人事異動は、辞令書の交付により行う。

第3節 休職、休業及び復職

第9条 教職員が、次の各号の一に該当する場合は、休職とする。

- (1) 負傷又は疾病のため、引き続き3ヵ月を超えて長期の休養を要するとき。
- (2) 私事によって、やむを得ず引続き勤務しない期間が1ヵ月に達したとき。
- (3) 精神の障害のため、長期の休養を要すると認めるとき。
- (4) 刑事事件に関し起訴されたとき。
- (5) 海外研修、内地留学その他これに類する事由によったとき。
- (6) その他学長が必要と認めるとき。

第10条 休職期間は、次のとおりとする。

- (1) 前条第1号に該当する場合 1年6ヵ月（職務上の傷病の場合 2年9ヵ月）
- (2) 前条第2号に該当する場合 3ヵ月
- (3) 前条第3号に該当する場合 9ヵ月
- (4) 前条第4号に該当する場合 その事件が裁判所に係属する間
- (5) 前条第5号及び第6号に該当する場合 休職事由が消滅するまでの間

(復職)

第11条 第9条各号により休職中の者が、その休職事由が消滅したときは復職とする。ただし、同条第1号及び第3号による休職者の復職は、医師の診断に基づいて決定し、同条第2号、第4号及び第6号による休職者の場合は、第18条に規定する手続きを経て復職を認めないことがある。

第12条 教職員が第9条第1号及び第3号の規定による休職期間内において、学長の承認を得て連続して15日（休日を含む。）以上、正規の勤務についての場合は、前条ただし書前段の診断書に基づき休職事由は消滅したものとみなし、当該日数は休職期間に算入しないものとする。

2 前項の勤務日の全部又は一部が休業期間に属する場合は、前項の規定にかかわらずそのときの事情に応じて、別途に考慮することがある。

第13条 第9条第1号、第2号及び第3号の規定による休職者については、休職期間が満了し、なお、休職事由が消滅しない場合は退職とする。

2 第9条第4号の規定による休職者については、禁錮以上の刑に処せられた場合には、解雇する。

（育児休業、介護休業）

第14条 教職員のうち必要ある者は、学長に申し出て育児休業又は介護休業をし、若しくは育児短時間勤務又は介護短時間勤務の適用を受けることができる。

2 前項の休業又は短時間勤務については、別に規程で定める。

第4節 定年

（定年）

第15条 教職員は、教員については満65才、一般職員については満63才に達した年の年度末をもって定年退職とする。ただし、教職員構成の都合上、大学が特に必要であると認めた教職員については、その退職時期、給与、身分等を学長の意見に基づき、理事会の承認を経て定めることができる。

2 一般職員については、高年齢者雇用安定法第9条第1項第2号の規定に基づき、労使協定の定めるところにより、65歳まで再雇用する。再雇用職員の就業規則は別に定める。

第5節 退職及び解職

（退職）

第16条 教職員が、定年以外の理由により退職しようとするときは、退職しようとする日の3ヵ月前までに退職願を学長に提出し、承認を求めなければならない。ただし、やむを得ない事情がある場合は、少なくとも1ヵ月前までにその手続きをとらなければならない。

2 退職願を提出し前項の承認を受けた後も学長の指示に従い引き続き自己の職務に精励しなければならない。

3 教職員から退職願が提出されたときは、特別の事情がない限り1ヵ月以内に承認するものとする。

第17条 教職員は、前条第1項の承認を得た後、退職の日までに自らの分掌する事務その他必要な事項について、引き継ぎを完了しなければならない。

（解職）

第18条 教職員が、次の各号の一に該当する場合は、少なくとも30日前に予告し、又は30日分の解雇予告手当をあらかじめ支給して解職することができる。ただし、天災地変

その他やむを得ない事由のため、大学経営の継続が不可能となった場合又は教職員の責に帰すべき事由に基づき解職する場合においては、この限りでない。

- (1) 勤務実績、勤務態度等が不良で就業に適しないと認められた場合
- (2) 心身の故障のため、職務遂行に支障を生じ、又はこれに堪えられない場合
- (3) 第3条の趣旨を尊重せず、又はその職務遂行に必要な適格性を欠き、引き続き大学で勤務することが不相当と認められた場合
- (4) やむを得ない職制の変更若しくは予算の減少により、廃職又は過員を生じた場合
- (5) 第7条第2項の規定に該当する場合
- (6) 第11条ただし書の規定による場合
- (7) その他服務規律に違反し、又はその他の事由により解職することが適当と認められた場合

第19条 前条にかかわらず、次の各号の一に該当する期間は解職しない。

- (1) 職務上負傷し、又は疾病にかかり療養のため休養する期間及びその後30日間
- (2) 第36条第1項及び第2項に規定する産前産後の休暇期間及びその後30日間

第20条 教職員を解職しようとする場合は、理事会の審議を経なければならない。

第6節 給与その他の給付

(給与その他の給付)

第21条 教職員の給与その他の給付に関することは、京都ノートルダム女子大学給与規程に定める。

第3章 勤務

第1節 教員の勤務

(教員の勤務)

第22条 教員の勤務については、京都ノートルダム女子大学教員の勤務等に関する規程に定めるものとし、本章第2節は適用しない。

第2節 一般職員の勤務

(勤務時間)

第23条 一般職員の勤務時間は、1週40時間とし、始業・終業時刻は次のとおりとする。

(1) 事務職員

- ① 始業 午前8時45分 終業 午後5時30分
- ② 始業 午前9時45分 終業 午後6時30分
- ③ 始業 午後0時45分 終業 午後9時30分

ただし、②、③を適用する場合は、事前に当該事務職員に通知しなければならない。

(2) 技術職員

始業 午前7時45分 終業 午後5時まで

(休憩時間)

第24条 休憩時間は、次のとおりとする。

(1) 事務職員 昼食時 45分(前条第1号の③の場合は、16時45分から17時30分)

(2) 技術職員 午前 15分、昼食時 45分、午後 15分

(勤務時間の割振)

第25条 前2条の規定にかかわらず、業務の都合その他特別の事由により、勤務時間又は休憩時間を変更して割り振ることがある。

(職場、職種の変更)

第26条 一般職員は命ぜられた職場、職種の変更については、正当な理由がなければこれを拒むことができない。

(宿日直)

第27条 業務上必要がある場合は、宿直(女子教職員を除く。)又は日直を命ずることがある。

第3節 休日

(休日)

第28条 休日は、次のとおりとする。

(1) 土曜日

(2) 日曜日(法定休日)

(3) 「国民の祝日に関する法律」で定められた休日

(4) 創立記念日(12月8日)

(5) クリスマス(12月25日)

(6) 年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)

(7) 8月11日から8月17日

(8) その他大学が特に休日と定めた日

第29条 業務上必要がある場合は、休日に勤務を命ずることがある。

2 前項の場合、当該休日をあらかじめ当該週の他の勤務日に振り替える(振替休日)。

3 第2項に規定する休日の振替ができないときは、出勤を命じた休日を起算日とする4週間後の日までの期間内に当該休日に代わる日(代休日)を指定することがある。

(1ヵ月以内の変形労働時間制)

第30条 業務の都合上、特別の形態によって勤務する必要のある教職員については、毎月1日を起算日とする1ヵ月以内の一定期間を平均して1週間当たりの勤務時間が40時間を超えない範囲において、第28条の規定にかかわらず、これと異なる休日を定めることがある。

2 前項の場合においては、原則として前月末日までに翌月の勤務割表を所属長から教職員に通知することにより、勤務日の割振りを行うものとする。ただし、緊急やむを得ない事情のある時はこの限りではない。

第4節 休暇

(年次有給休暇)

第31条 教職員は、1年(4月1日から翌年3月31日まで)を通じ、20日以内の年次有給休暇を受けることができる。

第32条 年次有給休暇の日数は、教職員の採用された月又は採用後の年により、次のとおりとする。

6ヵ月未満の者

10月、11月の採用者 5日

12月、1月の採用者 4日

2月、3月の採用者 3日

6ヵ月以上1年未満の者

4月～9月の採用者 10日

2年目の者 11日

3年目からは、1年増すごとに3日を加え、20日を限度とする。

2 定められた日数の年次有給休暇を受けなかった場合は、残余の日数を翌年度に限り繰り越して受けることができる。

第33条 年次有給休暇は、業務に差し支えない時期において受けるものとする。

第34条 年次有給休暇は、1日又は半日を単位として受けることができる。ただし、定められた日数のうち5日以内は時間単位で受けることができる。

(特別有給休暇)

第35条 教職員は、別表に定めるところにより、特別有給休暇を受けることができる。

2 特別有給休暇の日数は、連続した期間をいい、第28条に定める休日を含む。

(夏期特別有給休暇)

第36条 教職員は、学則第9条に掲げる夏期休業日において、業務に支障のない範囲内で5日以内の夏期特別有給休暇を受けることができる。ただし、この休暇は翌年に繰り越すことはできない。

(出産休暇)

第37条 女子教職員が出産の予定日前8週間(多胎妊娠の場合は14週間)の期間内において休暇を請求した場合は、出産の日まで産前休暇を受けることができる。

2 女子教職員が出産した場合は、出産の日の翌日から8週間の産後休暇を与え勤務させない。ただし、6週間を経過後、医師の支障ない旨の診断により本人が勤務を申し出たときは、この限りでない。

3 第1項及び第2項の休暇は有給とする。

(子の看護休暇)

第37条の2 小学校就学前の子(配偶者の子を含む。)を養育する教職員が、その子の看護のため勤務しないことが相当であると認められる場合、子の看護休暇を受けることができる。

2 前項の休暇は無給とする。

3 第1項の休暇については、別に規程で定める。

(傷病休暇)

第37条の3 教職員が傷病のため療養する必要がある、1週間以上勤務しないことがやむを得ないと認められる場合、傷病休暇を受けることができる。ただし、採用後6ヵ月以内の教職員は、傷病休暇を受けることができない。

2 傷病休暇を受けようとする者は、予定治療期間を記した診断書を提出しなければならない。

3 傷病休暇の期間は、承認日から3ヵ月以内とし、その間、給与は減額しない。

4 傷病のため勤務しない期間が3ヵ月を超える場合は、第9条に規定する休職とする。

5 傷病のため勤務しない期間が1週間未満の場合、及び勤務中の通院については、傷病休暇を適用しない。

(届出)

第38条 第31条から第37条までに規定する休暇を受けようとする者は、あらかじめ休暇願を学長に提出しなければならない。

第5節 出退勤及び欠勤

(出退勤)

第39条 一般職員は、出退勤の時間記録をタイム・レコーダーによって行わなければならない。ただし、第41条に規定する管理教職員には適用しない。

(欠勤)

第40条 教職員は、病気その他やむを得ない事由により欠勤する場合には、あらかじめ欠勤届を学長に提出しなければならない。

2 病気欠勤が連続して7日を超える場合は、医師の診断書を提出しなければならない。

第6節 管理教職員の特例

(管理教職員の特例)

第41条 管理教職員(労働基準法第41条第1項第2号に該当する者)については、この章の規定と異なる取り扱いをすることがある。

第4章 服務

(守秘義務)

第42条 教職員は、職務上知り得た秘密を他に漏らしてはならない。また、その職を退いた後も同様とする。

(兼業)

第43条 教職員は、大学以外の業務に従事し、又は自ら事業を営んではいけない。ただし、学長の承認を得た場合は、大学以外の業務に従事することができる。

(旅行の届出)

第44条 教職員は、旅行(軽易なものを除く。)をする場合には、あらかじめその旨を学長に届け出なければならない。

第5章 表彰、懲戒及び賠償

(表彰)

第45条 次の各号の一に該当する教職員に対しては、理事会の審議を経て表彰を行う。

- (1) 大学の発展のために特に功績のあった者
- (2) 長年誠実に勤務した者
- (3) 災害を未然に防止し、又は災害に際し特に功労のあった者
- (4) 社会的に功績があり、大学並びにその教職員の名誉となるような行為のあった者
- (5) その他特に表彰する必要があると認められた者

2 表彰は、賞状及び記念品を授与し、その他適当と認められる措置を行う。

(懲戒)

第46条 教職員が、次の各号の一に該当する場合は、理事会の審議を経て懲戒処分として譴責、減給、出勤停止、諭旨解雇又は懲戒解雇の処分をすることがある。

- (1) 正当の理由なく、また、手続きをとらないでしばしば無断欠勤、遅刻、早退をしたとき。
- (2) 第3条に規定する義務に違反し、職務上の指示、命令に従わず秩序を乱したとき。
- (3) 大学教職員としての体面をけがし、又はその名誉を損じたとき。
- (4) 経歴に重大な偽りがあり、又は不正な手段で採用されたとき。
- (5) 大学に関する文書を偽造し、又は変造し、その他大学に損害を及ぼしたとき。
- (6) 他の者に対し重大な侮辱を加え、あるいは暴行脅迫を行ったとき。
- (7) キャンパス・ハラスメントにあたる行為を行ったとき。
- (8) その他前各号に準ずる行為のあったとき。

2 懲戒処分は、その旨を記載した書面を当該教職員に交付して行うものとする。

(賠償)

第47条 教職員が、故意又は重大な過失により大学に損害を与えたときは、損害の全部又は一部を賠償させることができる。

第6章 安全及び保健

(安全)

第48条 教職員は、火災、盗難等の発生を未然に防止するよう努めなければならない。

2 火災その他の災害が発生したときは、その被害をできるだけ少なくするよう努めなければならない。

(保健)

第49条 教職員は、自他の保健に関し常に注意を払い、また、健康診断を受けること、その他大学の指示に従わなければならない。

2 教職員が、伝染性の病気その他の他人に感染する病気に罹患したときは、法令の定めるところ、又は大学の指示により出勤を停止させる。

第7章 災害補償

(災害補償)

第50条 教職員が、業務上負傷し、若しくは疾病にかかり、又は死亡した場合は、労働基準法及び労働者災害補償保険法の定めるところにより補償する。

附 則

この規則は、昭和49年12月10日から施行する。

附 則

この改正は、平成4年5月27日から施行し、平成4年4月1日から適用する。

附 則

この改正は、平成6年9月13日から施行し、平成6年10月1日から適用する。

附 則

この改正は、平成8年10月8日から施行し、平成8年4月1日から適用する。

附 則

この改正は、平成11年4月1日から施行する。ただし、平成11年3月31日現在、勤務する教職員については、従前の例（教員は、満70才、一般職員は、満65才に達した年の年度末をもって定年退職とする）による。

附 則

この改正は、平成13年6月1日から施行する。

附 則

この改正は、平成14年4月1日から施行する。

附 則（平成20年10月29日改正）

この改正は、平成20年10月30日から施行する。

附 則（平成22年3月27日改正）

この改正は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成23年3月29日改正）

この改正は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成24年3月27日改正）

この改正は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成26年6月17日改正）

この改正は、平成26年6月17日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

附 則（平成27年11月17日改正）

この改正は、平成28年1月1日から施行する。

別表（第35条第1項 特別有休休暇）

1 教職員の結婚

本人の場合 7日

子女の場合 2日

2 出産休暇

妻の場合 3日

3 忌引

配偶者		8日
血族	1親等の直系尊属（父母）	7日
	1親等の直系卑属（子）	5日
	2親等の直系尊属（祖父母）	3日
	2親等の直系卑属（孫）	1日
	2親等の傍系者（兄弟姉妹）	3日
	3親等の傍系尊属（おじ又はおば）	1日
姻族	1親等の直系尊属	3日
	1親等の直系卑属	2日
	2親等の直系尊属	1日
	2親等の傍系者	1日
	3親等の傍系尊属	1日

※遠隔地へ赴く必要がある場合は、実際に要した日数を加算することができる。

4 父母（養父母を含む。）及び配偶者の年忌 当日

※遠隔地へ赴く必要がある場合は、実際に要した日数を加算することができる。

5 女子教職員生理日 2日

6 選挙権その他公民権行使 必要と認められる時間

7 教職員が裁判員、証人、鑑定人、参考人等として国の機関、その他官公署へ出頭する場合で、その勤務しないことがやむを得ないと認められるとき 必要と認められる時間又は期間

8 災害その他教職員の責に帰することのできない理由による場合 必要と認められる時間又は期間

京都ノートルダム女子大学特任教員規程

(目的)

第1条 この規程は、京都ノートルダム女子大学（以下「本学」という。）において任用する特任教授、特任准教授、特任講師及び特任助教（以下「特任教員」という。）について定めるものとする。

2 この規程に定めのない事項及び特任教員の就業に関する事項は、京都ノートルダム女子大学就業規則、京都ノートルダム女子大学教員の勤務等に関する規程を準用する。

(任用)

第2条 特任教員は、次の各号の一に該当する場合に限り、期間を定めて任用できるものとする。

- (1) 本学の教育・研究上の組織編制のため、必要と認める場合
- (2) 本学の教育・研究上の豊富化のため、特定の領域において優れた業績を有する者を特に必要と認めて任用する場合
- (3) 本学が実施する教育・研究プログラムの遂行に必要と認める場合

(選考基準)

第3条 特任教員の選考は、京都ノートルダム女子大学教員選考基準及びその他の定めを準用し、次の各号のとおりとする。

- (1) 特任教授は、本学の教授と同等の資格を有すると認められる者
- (2) 特任准教授は、本学の准教授と同等の資格を有すると認められる者
- (3) 特任講師は、本学の講師と同等の資格を有すると認められる者
- (4) 特任助教は、本学の助教と同等の資格を有すると認められる者

(任命)

第4条 特任教員の任用は、管理運営会議の議を経て学長が決定し、ノートルダム女学院理事長が任命する。

(任用期間)

第5条 特任教員の任用期間は、4月1日から翌年3月31日までの1年間（ただし、年度の途中で採用の場合の終期は、最初の3月31日）若しくは、5年以内の複数年とする。

2 教育・研究上、必要と認める場合は、特任教員の任用を更新することができる。

(担当授業等)

第6条 特任教員は、研究指導又は講義を1週6講時（3コマ）以上担当するものとする。

2 特任教員は、教授会等、教育課程の審議に関する会議に、構成員として出席しなければならない。ただし、学長が出席の必要がないと認める場合は、この限りではない。

(服務)

第7条 特任教員は、他大学等の専任教員になることはできない。

2 特任教員は、一定の範囲内で他大学等での兼業を行うことができる。

(給与及び手当等)

第8条 特任教員の給与及び賞与等は、以下のとおりとする。

- (1) 基本給は、前職がある者については、退職時の基本給等の基礎給与の50%相当額を基本として個別に学長が定める。
 - (2) 第1号による算定ができないときは、特任教員の職及び他の特任教員との均衡を考慮の上、個別に学長が定める。
 - (3) 賞与は、6月期及び12月期に別表に掲げるところにより支給する。
 - (4) 通勤手当は、京都ノートルダム女子大学通勤手当支給要項に基づき支給する。
 - (5) その他の諸手当は支給しない。ただし、業務の実情・実績に応じて特別手当を支給することがある。
- 2 特任教員の給与算定に当たって年金調整は行わない。
 - 3 特任教員に退職金は支給しない。

(研究費等)

第9条 特任教員には、専任教員に準じて個人研究費を配分する。

(共済保険・雇用保険)

第10条 特任教員は、日本私立学校振興・共済事業団の加入者資格基準に定めるところにより被保険者になるものとする。

- 2 特任教員は雇用保険法の定めるところにより、被保険者となる。

附 則 (平成18年8月9日制定)

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

- 2 「特任教授規程」(平成12年7月11日制定)及び「特任教授規程第7条に定める「服務について」及び第8条に定める「特任教授の給与及び賞与」について」(平成12年7月11日用)は廃止する。

附 則 (平成21年12月24日改正)

この改正は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成22年2月24日改正)

この改正は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (平成22年12月22日改正)

この改正は、平成23年4月1日から施行する。

附 則 (平成27年5月27日改正)

- 1 この規程は、平成27年6月1日から施行する。
- 2 この規程の改正前に現に特任教員であるものにあつては、第2条第1号により任用された者とみなす。
- 3 改正後の規程にかかわらず、第8条1項第3号に規定する賞与に、平成27年6月期に限り、一律金として金30,000円を支給する。

附 則（平成27年10月21日改正）
この改正は、平成27年11月1日から施行する。

別表

支給期	基準日	支給日	賞与支給率	摘 要
6月	6月1日	6月10日	基本給×1.3	
12月	12月1日	12月10日	基本給×1.8	

支給日が休日に当たるときは、前日又は前々日に支給する。

現代人間学部 福祉生活デザイン学科 履修モデル

【生活デザインコンコース(家庭科教員)】

科目区分	1 年次			2 年次			3 年次			4 年次			単位数		
	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	科目名	科目名	単位
	科目名	科目名		科目名	科目名		科目名	科目名		科目名	科目名				
教養科目	人間と文化	文化人類学	2												4
	生活と社会	憲法と人権	2	ことごとく子育ての生活環境学 1											3
基礎科目	人間と自然		2												2
	外国語科目	英語基礎Ⅱ 英語総合Ⅱ	1 1	おもてなしの英会話 1	日常の英会話 1	やさしいビジネス英会話 1	歌って覚える英語表現 1								8
基礎科目	リサーチ・健康スポーツ演習	情報処理Ⅰ	2	情報処理											5
	カリファ教育科目	キリスト教音楽入門 ノートブック学習	1 2		キリスト教美術										5
学部共通科目	現代社会と女性・家族 現代社会と高齢者		1 1												4
	福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ	福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ 福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ	2 2			福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ 1									6
基礎科目	福祉生活デザイン概論 衣食生活概論		2 2												4
	衣食生活概論	現代社会と家庭経営 住居学概論 現代社会と福祉Ⅰ	2 2 2												12
専門教育科目	生活系科目	家庭電気・機械及び情報処理	2	衣食生活材料学 アパレル造形学(実習を含む) 食品学 食品加工学(実験を含む) 食品官能評価論 食品官能評価演習(実験を含む) 栄養学 福祉住環境デザイン 家庭科教育法Ⅰ(生徒の自立と衣食住) 家庭科教育法Ⅱ(家族・家庭生活と福祉)	2 2 2 2 2 2 2 2	調理実習 住居実習Ⅰ 家族関係 保健学(実験および実習を含む) 消費者教育 家庭科教育法Ⅲ(指導法と教材作成)	2 2 2 2 2 2	衣生活情報論 発展調理学実習 フードコーディネート論 家庭科教育法Ⅳ(模擬授業)	2 2 2 2	住居学 老人福祉論	2 2				53
		福祉系科目													
関連科目	福祉系科目	食品安全社会学 食品流通論	2 2												6
		福祉生活デザイン特論													0
専門演習・卒業研究															8
学際教育科目															0
計			18			20						14			8
		24										13		4	124
教職に関する科目	教育心理学	教師論 発達と学習の教育心理	2 2		2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	2 2	1
		教育社会学	2		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計			0		4							8			7
	総合計		24		20		24		20		22		4		152

注) 長期休業期間に実施される集中科目はCAP前の適用外

現代人間学部 福祉生活デザイン学科 履修モデル

【生活デザインコース(住宅、インテリア関連企業、2級建築士)】

科目区分	1年次			2年次			3年次			4年次			単位数	
	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	科目名	単位
	科目名	科目名		科目名	科目名		科目名	科目名		科目名	科目名			
教養科目	日本文学	歴史の中の女性	2	子育てとワークライフバランス	暮らしの経済学	2	暮らしの統計学							4
	暮らしの法律学	環境学概論	2	子どもと子育てでの生活概観学	暮らしの経済学	1	暮らしの統計学							6
基礎科目	英語基礎 I	英語基礎 II	1	やさしいビジネス英会話	実用英語基礎	1								6
	英語総合 I	英語総合 II	1	フランス語	情報処理	2								10
基礎科目	外国語科目	健康スポーツ演習	2											12
	キャリア教育科目	情報演習 I	1											3
基礎科目	キャリア教育科目	キリスト教入門	2											5
	キャリア教育科目	女性とライフキャリア	2							キャリア形成	2			6
学部共通科目	現代社会と女性・家族		1											2
	現代社会と高齢者		1											2
基礎科目	福祉生活デザイン基礎演習 I	福祉生活デザイン基礎演習 II	2	福祉生活デザイン基礎演習 III	福祉生活デザイン基礎演習 IV	1								6
	福祉生活デザイン概論	現代社会と家庭経営	2											12
専門教育科目	衣生活概論	衣生活概論	2	建築一般構造	アパレルデザイン	2	染色加工学	2	衣生活情報論	2	衣生活情報論	2		30
	住居学概論	住居学概論	2	住居学	住居学	2	食品学	2	フードコーディネート論	2	フードコーディネート論	2		34
専門教育科目	現代社会と福祉 I	現代社会と福祉 I	2	福祉生活デザイン	福祉生活デザイン	1	住居製図 II	1	建築材料学	2	建築材料学	2		82
				住居製図 I	住居製図 I	2	京都生活論	2	建築法規	2	建築法規	2		4
関連科目	生活系科目	ビジネスの基礎	2											18
	福祉系科目													18
専門演習・卒業研究	生活系科目													0
	福祉系科目													0
学際教育科目	専門演習・卒業研究													8
	卒業研究									卒業研究	4			12
計			21			15		19		20		0		124

注) 長期休業期間に実施される集中科目は C A P 制の適用外

現代人間学部 福祉生活デザイン学科 履修モデル

【生活デザインコース(フードスペシャリスト)】

科目区分	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		単位数	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	単位	単位
	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名		
教養科目	人間と文化	文化人類学	2							4
	生活と社会	憲法と人権	2	子どもと子育ての生活環境学 子育てとワークライフバランス	1					4
基礎科目	人間と自然		2	地球と宇宙の科学						2
	外国語科目	英語基礎Ⅰ 英語総合Ⅰ	1 1	英語基礎Ⅱ 英語総合Ⅱ	1	日常の英会話	やさしいビジネス英会話	1	歌って覚える英語表現	8
基礎科目	リファレンス・情報科目	健康スポーツ演習	2	情報処理	2					5
	キャリア教育科目	キリスト教入門	2	キリスト教音楽入門	1					5
学部共通科目	キャリア形成科目	ノートプログラム学	2	ホスピタリティ入門	2					4
	現代社会と子ども 現代社会と女性・家族		1 1							2
基礎科目	福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ	福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ	2	福祉生活デザイン基礎演習Ⅲ	1	福祉生活デザイン基礎演習Ⅳ				6
	福祉生活デザイン概論 衣食生活概論 住居学概論 現代社会と福祉Ⅰ		2 2 2 2	衣食生活科学 食品学 食品官能評価論 食品官能評価演習(実験を含む) 調理学 栄養学 福祉住環境デザイン	2 2 2 1 2 2 2	アパレルデザイン 繊維材料科学 食品加工学(実験を含む) 調理学 住居学 住居史	2 2 3 2 2 2	調理学実習 住居学 家族関係 消費者教育 インテリア準備学	2 2 2 2 2	42
展開科目	福祉系科目									0
	生活系科目			ビジネスの基礎	2	食品安全科学 食品流通論	フードスペシャリスト論 デザイン論Ⅰ 色彩学 マーケティング論	2 2 2 2	デザイン論Ⅱ	2
専門演習・卒業研究	福祉系科目									0
	生活系科目									18
学際教育科目	専門演習・卒業研究						福祉生活デザイン特論	4	卒業研究	8
	計	24	18	19	21	17	15	2	8	124

注) 長期休業期間に実施される集中科目はCAP制の適用外

現代人間学部 福祉生活デザイン学科 履修モデル

【生活デザインコンコース(繊維製品品質管理士)】

科目区分	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		単位数		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	単位	単位	
	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名			
教養科目	人間と文化	2	文化人類学							4	
	生活と社会	2	憲法と人権	1						3	
基礎科目	人間と自然	2	地球と宇宙の科学							2	
	英語基礎 I	1	英語基礎 II	1	日常の英会話	1	やさしいビジネス英会話	1	歌って覚える英語表現	8	
基礎科目	外国語科目	1	英語総合 II	1						13	
	リテラシー科目	2	健康スポーツ演習	1	情報処理	2				5	
基礎科目	キャリア教育科目	2	キリスト教音楽入門	1	キリスト教美術	2				5	
	キャリア形成科目	2	ノートルダム学	2						4	
学部共通科目	現代社会と女性・家族	1									
	現代社会と高齢者	1								2	
基礎科目	福祉生活デザイン基礎演習 I	2	福祉生活デザイン基礎演習 II	2	福祉生活デザイン基礎演習 III	1	福祉生活デザイン基礎演習 IV	1		6	
	衣食生活概論	2									
基礎科目	衣食生活概論	2									
	住居学概論	2								12	
専門教育科目	生活系科目	現代社会と福祉 I	家庭電気・機械及び情報処理	2	衣食生活材料学	2	アパレルデザイン	2	染色加工学	2	47
			食品学	2	服飾心理学	2	繊維材料学	2	アパレルデザイン演習 II	1	
専門教育科目	生活系科目	現代社会と福祉 II	食品官能評価論	1	食品官能評価論	1	アパレルデザイン演習 I	1	調理学実習	2	47
			食品官能評価演習 (実験を含む)	2	食品官能評価演習	2	アパレルデザイン演習 II	2	調理学実習	2	
専門教育科目	生活系科目	現代社会と福祉 III	福祉住環境デザイン	2	福祉住環境デザイン	2	調理学	2	住生活学	2	47
			京都生活論	2	京都生活論	2	住環境学	2	住生活学	2	
専門教育科目	福祉系科目	福祉系科目									0
専門教育科目	生活系科目	福祉系科目	ビジネスの基礎	2	ビジネスの基礎	2	デザイン論 I	2	デザイン論 II	2	14
専門教育科目	福祉系科目	福祉系科目									14
専門教育科目	福祉系科目	福祉系科目									0
専門教育科目	卒業研究	卒業研究									8
学際教育科目	卒業研究	卒業研究									12
学際教育科目	卒業研究	卒業研究									0
計	計	計	18	18	17	16	16	16	2	10	124
			24	24	24	24	24	24	24	24	24

注) 長期休業期間に実施される集中科目は C A P 制の適用外

現代人間学部 福祉生活デザイン学科 履修モデル

【社会福祉コース(社会福祉士)】

科目区分	1年次			2年次			3年次			4年次			単位数							
	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	科目名	単位	科目名	単位				
	科目名	科目名		科目名	科目名		科目名	科目名		科目名	科目名									
教養科目	日本文学		2														2			
	人間と文化																2			
	生涯と社会																2			
	人間と自然																2			
基礎科目	英語基礎 I		1	おもてなしの英会話		1											8			
	英語総合 I		1	読むための英語		1											8			
	中国語 I		1														1			
	情報演習 I		1														1			
基礎科目	キャリア教育科目		2	キリスト教入門		2											3			
	ノートルダム学		2	女性とライフキャリア		2											6			
	現代社会と子ども		1														9			
	現代社会と若者・障がい者		1														6			
学部共通科目	福祉生活デザイン基礎演習 I		2	福祉生活デザイン基礎演習 II		2											2			
	福祉生活デザイン基礎演習 II		2	福祉生活デザイン基礎演習 III		1											6			
	福祉生活デザイン基礎演習 III		2														2			
	福祉生活デザイン基礎演習 IV		1														2			
基礎科目	食生活概論		2														12			
	衣生活概論		2														2			
	住居学概論		2														2			
	現代社会と福祉 I		2														2			
専門教育科目	生活系科目			医学一般		2											2			
	福祉系科目			現代社会と福祉 II		2	社会探険論 I		2	社会探険論 II		2	地政福祉論 I		2	地政福祉論 II	20			
	生活系科目			現代社会と福祉 I		2	社会探険論 II		2	障害者福祉論		2	児童福祉論		2		18			
	福祉系科目			現代社会と福祉 II		2	社会福祉調査法		2	介護概論		2					2			
専門教育科目	生活系科目			ソシヤルワーク論 I		2	ソシヤルワーク論 II		2	ソシヤルワーク論 III		2	福祉生活デザイン特論		4	卒業研究	98			
	福祉系科目			ソシヤルワーク論 II		2	ソシヤルワーク演習 I (通年)		2	リハビリテーション論		2					0			
	生活系科目			ソシヤルワーク演習 I (通年)		2	ソシヤルワーク演習 II (通年)		2	ソシヤルワーク演習 III (通年)		2					2			
	福祉系科目			ソシヤルワーク演習 II (通年)		2	ソシヤルワーク演習 III (通年)		2	ソシヤルワーク演習 IV (通年)		2					48			
専門演習・卒業研究	生活系科目			ソシヤルワーク演習 III (通年)		2	ソシヤルワーク実習指導 I (通年)		2	ソシヤルワーク実習指導 II (通年)		2					48			
	福祉系科目			ソシヤルワーク実習指導 II (通年)		2	ソシヤルワーク実習指導 III (通年)		2	ソシヤルワーク実習指導 IV (通年)		2					48			
	生活系科目			ソシヤルワーク実習指導 III (通年)		2	ソシヤルワーク実習指導 IV (通年)		2	ソシヤルワーク実習指導 V (通年)		2					48			
	福祉系科目			ソシヤルワーク実習指導 IV (通年)		2	ソシヤルワーク実習指導 V (通年)		2	ソシヤルワーク実習指導 VI (通年)		2					48			
学際教育科目	生活系科目			福祉生活デザイン特論		4											8			
	福祉系科目																12			
計			22			20			17		17			17		19	16	3	10	124

注) 長期休業期間に実施される集中科目はCAP制の適用外

現代人間学部 福祉生活デザイン学科 履修モデル

【社会福祉コース (医療ソーシャルワーカー)】

科目区分	1 年次			2 年次			3 年次			4 年次			単位数
	前期 科目名 単位数	後期 科目名 単位数	前期 科目名 単位数	前期 科目名 単位数	後期 科目名 単位数	前期 科目名 単位数	後期 科目名 単位数	前期 科目名 単位数	後期 科目名 単位数	前期 科目名 単位数	後期 科目名 単位数		
教養科目 人間と文化 生活と社会 人間と自然	日本文学 2	社会学概論 2	暮らしの統計学 2									2	
	英語基礎 I 1	英語総合 I 1	英語総合 II 1	おもてなしの英会話 1								2	
	中国語 情報演習 I 1			読むための英語 1								2	
基礎科目	英語基礎 II 1	英語総合 II 1	英語総合 III 1	おもてなしの英会話 1								8	
	中国語 情報演習 II 1			読むための英語 1								9	
基礎科目	クリスタル教育入門 1	キリスト教入門 2	ノートルダム学 2	クリスタル教育入門 1								3	
	現代社会と子ども 現代社会と若者・障がい者 1	女性とライフキャリア 2	ホスピタリティ京都 2	クリスタル教育入門 1								6	
学部共通科目	現代社会と子ども 現代社会と若者・障がい者 1	現代社会と福祉 I 2										2	
	福祉生活デザイン基礎演習 I 2	福祉生活デザイン基礎演習 II 2	福祉生活デザイン基礎演習 III 2	福祉生活デザイン基礎演習 IV 1								6	
基礎科目	福祉生活デザイン概論 2	食生活概論 2	現代社会と福祉 II 2	医学一般 2	社会探険論 I 2	社会探険論 II 2	障害者福祉論 2	児童福祉論 2	医療ソーシャルワーク論 2	地域福祉論 I 2	地域福祉論 II 2	22	
	衣食生活概論 2	居住学概論 2	現代社会と福祉 I 2	現代社会と福祉 II 2	社会探険論 III 2	社会探険論 IV 2	介護概論 2	児童福祉論 2	医療ソーシャルワーク論 2			20	
専門教育科目 生活系科目	福祉生活デザイン概論 2	福祉生活デザイン概論 2	現代社会と福祉 I 2	現代社会と福祉 II 2	現代社会と福祉 III 2	現代社会と福祉 IV 2	現代社会と福祉 V 2	現代社会と福祉 VI 2	現代社会と福祉 VII 2	現代社会と福祉 VIII 2	現代社会と福祉 IX 2	0	
	福祉生活デザイン概論 2	福祉生活デザイン概論 2	現代社会と福祉 I 2	現代社会と福祉 II 2	現代社会と福祉 III 2	現代社会と福祉 IV 2	現代社会と福祉 V 2	現代社会と福祉 VI 2	現代社会と福祉 VII 2	現代社会と福祉 VIII 2	現代社会と福祉 IX 2	102	
専門教育科目 福祉系科目	福祉生活デザイン概論 2	福祉生活デザイン概論 2	現代社会と福祉 I 2	現代社会と福祉 II 2	現代社会と福祉 III 2	現代社会と福祉 IV 2	現代社会と福祉 V 2	現代社会と福祉 VI 2	現代社会と福祉 VII 2	現代社会と福祉 VIII 2	現代社会と福祉 IX 2	2	
	福祉生活デザイン概論 2	福祉生活デザイン概論 2	現代社会と福祉 I 2	現代社会と福祉 II 2	現代社会と福祉 III 2	現代社会と福祉 IV 2	現代社会と福祉 V 2	現代社会と福祉 VI 2	現代社会と福祉 VII 2	現代社会と福祉 VIII 2	現代社会と福祉 IX 2	2	
専門教育科目 福祉系科目	福祉生活デザイン概論 2	福祉生活デザイン概論 2	現代社会と福祉 I 2	現代社会と福祉 II 2	現代社会と福祉 III 2	現代社会と福祉 IV 2	現代社会と福祉 V 2	現代社会と福祉 VI 2	現代社会と福祉 VII 2	現代社会と福祉 VIII 2	現代社会と福祉 IX 2	2	
	福祉生活デザイン概論 2	福祉生活デザイン概論 2	現代社会と福祉 I 2	現代社会と福祉 II 2	現代社会と福祉 III 2	現代社会と福祉 IV 2	現代社会と福祉 V 2	現代社会と福祉 VI 2	現代社会と福祉 VII 2	現代社会と福祉 VIII 2	現代社会と福祉 IX 2	2	
専門教育科目 福祉系科目	福祉生活デザイン概論 2	福祉生活デザイン概論 2	現代社会と福祉 I 2	現代社会と福祉 II 2	現代社会と福祉 III 2	現代社会と福祉 IV 2	現代社会と福祉 V 2	現代社会と福祉 VI 2	現代社会と福祉 VII 2	現代社会と福祉 VIII 2	現代社会と福祉 IX 2	50	
	福祉生活デザイン概論 2	福祉生活デザイン概論 2	現代社会と福祉 I 2	現代社会と福祉 II 2	現代社会と福祉 III 2	現代社会と福祉 IV 2	現代社会と福祉 V 2	現代社会と福祉 VI 2	現代社会と福祉 VII 2	現代社会と福祉 VIII 2	現代社会と福祉 IX 2	50	
専門教育科目 福祉系科目	福祉生活デザイン概論 2	福祉生活デザイン概論 2	現代社会と福祉 I 2	現代社会と福祉 II 2	現代社会と福祉 III 2	現代社会と福祉 IV 2	現代社会と福祉 V 2	現代社会と福祉 VI 2	現代社会と福祉 VII 2	現代社会と福祉 VIII 2	現代社会と福祉 IX 2	50	
	福祉生活デザイン概論 2	福祉生活デザイン概論 2	現代社会と福祉 I 2	現代社会と福祉 II 2	現代社会と福祉 III 2	現代社会と福祉 IV 2	現代社会と福祉 V 2	現代社会と福祉 VI 2	現代社会と福祉 VII 2	現代社会と福祉 VIII 2	現代社会と福祉 IX 2	50	
専門教育科目 卒業研究	福祉生活デザイン概論 2	福祉生活デザイン概論 2	現代社会と福祉 I 2	現代社会と福祉 II 2	現代社会と福祉 III 2	現代社会と福祉 IV 2	現代社会と福祉 V 2	現代社会と福祉 VI 2	現代社会と福祉 VII 2	現代社会と福祉 VIII 2	現代社会と福祉 IX 2	8	
	福祉生活デザイン概論 2	福祉生活デザイン概論 2	現代社会と福祉 I 2	現代社会と福祉 II 2	現代社会と福祉 III 2	現代社会と福祉 IV 2	現代社会と福祉 V 2	現代社会と福祉 VI 2	現代社会と福祉 VII 2	現代社会と福祉 VIII 2	現代社会と福祉 IX 2	12	
学際教育科目												0	
計	22	20	17	19	20	17	17	17	20	3	10	128	

注) 長期休業期間に実施される集中科目はCAP制の適用外

現代人間学部 福祉生活デザイン学科 履修モデル

【福祉生活総合コース（コミュニケーション・ビジネス）】

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		単位数
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	
教養科目	2 日本文学								2
	2 暮らしの経済学								4
基礎科目	2 暮らしの統計学								2
	1 英語基礎Ⅰ								8
基礎科目	1 英語総合Ⅰ								10
	2 中国語Ⅱ								2
基礎科目	1 体育講義								2
	1 キリスト教入門								5
基礎科目	2 ノートルダム学								8
	2 女性とライフキャリア								2
学部共通科目	1 現代社会と子ども								2
	1 現代社会と女性・家族								2
基礎科目	2 福祉生活デザイン基礎演習Ⅰ								6
	2 福祉生活デザイン基礎演習Ⅱ								2
基礎科目	2 現代社会と家庭経営								12
	2 食生活概論								2
専門教育科目	2 現代社会と福祉Ⅰ								24
	2 食品生産概論								2
専門教育科目	2 建築一般構造								2
	2 住生活学								2
専門教育科目	2 福祉住環境デザイン								2
	2 服飾心理学								2
専門教育科目	2 調理学実習								2
	2 消費者教育								2
専門教育科目	2 食品加工学（実験を含む）								24
	2 建築法規								2
専門教育科目	2 地域福祉論Ⅰ								14
	2 福祉コミュニケーションの実践（通年）								2
専門教育科目	2 マーケティング論								8
	2 健康医療サービス								11
専門教育科目	1 健康医療サービス								3
	2 福祉生活デザイン特論								8
学際教育科目	2 現代社会の心理学								12
	2 キャリアとコミュニケーション								2
計	21								17
	19								8

注) 長期休業期間に実施される集中科目はCAP制の適用外

現代人間学部 心理学科 履修モデル

【社会・ビジネス心理（認定心理士（心理調査）コース）】

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		単位数		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	単位	科目数	
	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名			
教養科目	人間と文化	日本の宗教								2	6
	生活と社会	ジェンダー論								2	
共通教育科目	人間と自然	身近な自然科学								2	9
	外国語科目	英語基礎 I 英語総合 I 英語総合 II コア英語 I 情報演習 I	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	8 1	
基礎科目	カリキュラム教育科目	キリスト教音楽入門	2							2	9
	リテラシー形成科目	ノートルダム学	2							2	
学部共通科目	現代社会と女性・家族	現代社会と高齢者	1							2	4
	心理学概論	心理統計法 II 心理学基礎演習 II 心理学基礎演習 I 現代社会調査入門	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	2 2 2 2	
基礎科目	基礎心理領域	発達心理学概論	2							2	36
	生理発達心理領域	現代社会の心理学	2							2	
専門教育科目	社会・産業心理領域	生活環境の心理学 対人関係 臨床心理学概論	2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	2 2 2	46
	臨床心理・精神医学領域	心理テスト論	2							2	
関連科目	社会・ビジネス領域	現代社会の心理学	2							2	2
	精神保健福祉領域	現代社会の心理学	2							2	
専門演習・卒業研究	卒業研究(通年)	卒業研究(通年)	4							4	12
	卒業論文(通年)	卒業論文(通年)	4							4	
学際教育科目										2	0
計										2	
計										16	124
										4	

注) 長期休業期間に実施される集中科目はCAP制の適用外

現代人間学部 心理学科 履修モデル

【社会・ビジネス心理（社会調査士）コース】

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		単位数		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	単位	単位	
	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	
教養科目	人間と文化										2
	生活と社会										2
共通教育科目	人間と自然										2
	外国語科目	英語基礎Ⅱ	やさしいビジネス英会話	1	日常の英会話	1					8
		英語総合Ⅰ		1							2
		中国語Ⅰ		2							2
基礎科目	リサーチ・レポート科目										1
	リサーチ・レポート科目										9
学部共通科目	キリスト教音楽入門	キリスト教入門			キリスト教美術	2					5
	リサーチ・レポート科目				インターンシップ(通年)	2					7
専門教育科目	基礎心理領域	現代社会と女性・家族					情報科学				2
		現代社会と高齢者									4
	生涯発達心理領域	心理学概論	心理統計法Ⅱ	2	初級実験演習Ⅱ	2	推測統計学Ⅱ	2	心理学情報処理	2	2
		心理統計法Ⅰ	心理学研究法	2	心理統計学Ⅰ	2	心理学基礎演習(基礎)	2			6
	社会・産業心理領域	初級実験演習Ⅰ	推測統計学Ⅰ	2	初級実験演習Ⅰ	2	推測統計学Ⅰ	2	高年齢者の心理学	2	2
		行動科学概論	行動科学概論	2	行動科学概論	2	質問紙調査法	2	スクールのカウンセリング論	2	2
	臨床心理・精神医学領域	現代社会の心理学	現代社会の心理学	2	現代社会の心理学	2	学習の心理学	2	認知心理学	2	2
		心理テスト論	心理テスト論	2	臨床心理学概論	2	発達心理学概論	2	教育心理学概論	2	2
	社会・ビジネス領域	現代社会の心理学	現代社会の心理学	2	現代社会の心理学	2	現代青年の心理学	2	消費者行動の心理学	2	2
		社会・ビジネス心理学	社会・ビジネス心理学	2	社会・ビジネス心理学	2	現代青年の心理学	2	消費者行動の心理学	2	2
関連科目	現代社会の心理学	現代社会の心理学	2	現代社会の心理学	2	現代社会の心理学	2	現代社会の心理学	2	2	
	現代社会の心理学	現代社会の心理学	2	現代社会の心理学	2	現代社会の心理学	2	現代社会の心理学	2	2	
専門演習・卒業研究	卒業研究							卒業研究(通年)	4		8
	卒業研究							卒業研究(通年)	4		8
学際教育科目											0
計											124

注) 長期休業期間に実施される集中科目はCAPの適用外

現代人間学部 心理学科 履修モデル

【心理カウンセリング（公認心理師、臨床心理士）コース】

科目区分	1年次			2年次			3年次			4年次			単位数				
	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	前期	後期	単位	科目名	単位	科目名	単位	
	科目名	科目名		科目名	科目名		科目名	科目名		科目名	科目名						
教養科目	日本文学		2														2
	人間と文化 生活と社会 人間と自然	暮らしの経済学 生命倫理	2 2														2 2
基礎科目	英語基礎 I 英語総合 I フランス語 情報演習 I	英語基礎 II 英語総合 II フランス語 情報演習 I	1 1 2 1	英語リスニング初級	英語リスニング中級	1											8
	キリスト教音楽入門 ノートルダム学	キリスト教音楽入門 ノートルダム学	2 2		キリスト教美術	2											5
学部共通科目	現代社会と子ども 現代社会と患者・障がい者	現代社会と子ども 現代社会と患者・障がい者	1 1														2
	心理学概論 心理統計法 I 心理学基礎演習 I	心理統計法 II 心理統計学 II 心理統計学 I 初級実験演習 I	2 2 2 2	心理学研究法 推測統計学 I 心理テスト演習 質問紙調査法	推測統計学 II 心理学英文講義(基礎)	2 2	上級実験演習 心理カウンセリング実践(面接技法)	2 2	心理学英文講義(応用)	2							30
専門教育科目	基礎心理領域 発達心理 社会・産業心理領域	知覚心理学 発達心理学概論 現代青年の心理学 対人関係論	2 2 2 2	知覚心理学 教育心理学概論 現代青年の心理学 対人関係論	学習の心理学 教育心理学概論 現代青年の心理学 家族心理学	2 2 2 2	認知心理学 神経心理学 産業心理学	2 2 2	認知心理学 高年齢者の心理学 産業心理学	2 2 2							8 8 6
	臨床心理・精神医学領域	心理カウンセリング概論 心理テスト論 心理カウンセリング概論 精神医学 I	2 2 2 2	臨床心理学概論 精神医学 I 無意識の心理学	臨床心理学アセスメント 無意識の心理学	2 2	パーソナリティ心理学 心理療法論 障害児・者の心理学 心理関係法概論 心理カウンセリングフィールド研修(通年)	2 2 2 2 2	スクールカウンセリング論 認知行動療法概論 心理カウンセリング実践(ワークシャワー)	2 2 2	犯罪心理学	2					54 32
関連科目	社会・ビジネス領域 精神保健福祉	現代社会と福祉 I	2														2
	専門演習・卒業研究																12
学際教育科目																	0
計			19			21					14			18		10	124

注) 長期休業期間に実施される集中科目はCAP制の適用外

現代人間学部 心理学科 履修モデル

【心理カウンセリング（公認心理師 + 精神保健福祉士）コース】

科目区分	1年次			2年次			3年次			4年次			単位数
	前期 科目名 単位	後期 科目名 単位		前期 科目名 単位	後期 科目名 単位		前期 科目名 単位	後期 科目名 単位		前期 科目名 単位	後期 科目名 単位		
教養科目	人間と文化	2											2
	生活と社会	2	社会科学概論	2									2
基礎科目	外国語科目	1	英語基礎II	1	旅行の英会話 実用英語基礎	1							8
	基礎科目	2	英語総合II 中国語I 情報演習I	2									2
基礎科目	キャリア教育科目	1	キャリア教育入門	1									1
	基礎科目	2	キリスト教入門 ノートルダム学 女性とライフキャリア	2	キャリア形成ゼミ	2							3
学部共通科目		1	現代社会と女性・家族 現代社会と若者・障がい者	1									2
	基礎科目	2	心理学概論 心理統計法I 心理学的基礎演習I	2	心理学研究法 心理テスト演習 質問紙調査法	2							20
展開科目	基礎心理領域				学習の心理学	2							2
	生涯発達心理領域				現代青年の心理学	2							6
専門教育科目	社会産業心理領域				現代社会の心理学	2							6
	臨床心理・精神医学領域				精神保健学I 精神医学I	2							6
専門教育科目	社会ビジネス領域				精神保健学II 精神医学II	2							20
					心理カウンセリング概論 心理テスト論	2							2
関連科目	精神保健福祉領域				心理学一般 社会保険論I 精神保健福祉論I 精神保健福祉援助の基礎(専門)	2							2
					現代社会と福祉II 精神保健福祉援助の基礎(基礎) 精神保健福祉援助技術各論II	2							2
卒業研究													4
卒業研究													8
計		23		23		22	19	25				7	149

注) 長期休業期間に実施される集中科目はCAP制の適用外

現代人間学部 こども教育学科 履修モデル

【小学校・特別支援学校教員コース（小特コース）】

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		単位数		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	単位	科目名	
	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	単位	科目名	
教養科目	人間と文化	2									2
	生活と社会		2								2
	人間と自然	2									2
	外国語科目	1	英語基礎Ⅱ	1	留学の英会話	1					8
基礎科目	英語基礎Ⅰ	1	英語総合Ⅱ	1	おもてなしの英会話	1					28
	情報演習Ⅰ	1	体育講義	1	情報処理	2					13
	体育実践	1									5
基礎科目	キリスト教音楽入門	1	キリスト教入門	2	キリスト教思想	2					5
	ポートフォリオ	2									9
学部共通科目	現代社会と女性・家族	1									4
	現代社会と高齢者	1									2
基礎科目	こども教育基礎演習	1									10
	こども教育フィールド研修	1									
	教職論	2									
	教育原理	2									
専門教育科目	こどもの教育心理学	2									2
	算数	2									
	生活	2									
	教育相談の理論と方法	2									2
	教育実習事前事後指導	1									
	初等教育実習Ⅰa	2									17
	初等教育実習Ⅰb	2									
	教育実習	0									0
	音楽Ⅰ	1									1
	音楽Ⅱ	1									1
展開科目	音楽科指導法	2									75
	国語科指導法	2									
	社会科指導法	2									
	理科指導法	2									
	算数科指導法	2									
	家庭科指導法	2									
	体育科指導法	2									
	生活科指導法	2									
	知的障害者教育論Ⅰ	2									
	知的障害者教育論Ⅱ	2									
特別支援	知的障害者教育論Ⅰ	2									28
	知的障害者教育論Ⅱ	2									
特別支援	知的障害者教育論Ⅰ	2									29
	知的障害者教育論Ⅱ	2									
関連科目	知的障害者の心理・生理・病理	2									1
	知的障害者の心理・生理・病理	2									2
専門演習・卒業研究	知的障害者の心理・生理・病理	1									1
	知的障害者の心理・生理・病理	1									1
学際教育科目	こども教育演習（通年）										4
	卒業論文（通年）										8
計		23		20		23					0
											124

注) 長期休業期間に実施される集中科目はC・A・P制の適用外

現代人間学部 こども教育学科 履修モデル

【幼稚園・小学校教員コース（幼小コース）】

科目区分	1年次			2年次			3年次			4年次			単位数	
	前期	後期	後期	前期	後期	後期	前期	後期	後期	前期	後期	後期	単位	単位
	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名		
教養科目	人間と文化	2												2
	生活と社会		2											2
	人間と自然	2												2
	英語基礎Ⅰ 英語総合Ⅰ 情報演習Ⅰ 体育実技	1 1 1 1		1 1 1	1 1 1	1 1 1								8
基礎科目	キリスト教音楽入門	1												5
	キリスト教思想	2												5
	フードリズム 女性とライフキャリア 形成科目	2 2												4
学部共通科目	現代社会と女性・家族 現代社会と高齢者	1 1												2
	基礎科目	こども教育基礎演習 こども教育フィールド研修 新編論 教育原理 こどもの教育心理学	1 1 2 2 2											
幼小共通科目														
幼児共通科目														
学科学習科目														
専門教育科目	国語 算数 生活	2 2 2												2
	保育内容総論 幼児理解の理論と方法	2 2												2
	保育内容(健康) 保育内容(人間関係) 保育内容(環境)	2 2 2												6
	体育Ⅰ	1												5
	図形科指導法 社会科指導法 算数科指導法 理科指導法 生活科指導法	2 2 2 2 2												27
	特別支援教育基礎理論	2												2
	介護等体験(通年)	1												1
	卒業論文(通年)													4
	卒業論文(通年)													4
	卒業論文(通年)													8
卒業論文(通年)													0	
計	23	23	23	22	15	10	2	6	124					

(注) 長期休業期間に実施される集中科目はCA・P制の運用外

現代人間学部 子ども教育学科 履修モデル

【幼稚園教員・保育士コース（幼保コース）】

科目区分	1年次			2年次			3年次			4年次			単位数	
	前期	後期	後期	前期	後期	後期	前期	後期	後期	前期	後期	後期	単位	単位
	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名	科目名		
教養科目	人間と文化	2												2
	生活と社会		2											2
	人間と自然													2
	英語基礎Ⅰ 英語総合Ⅰ 情報演習Ⅰ 体育実技	1 1 1 1	英語基礎Ⅱ 英語総合Ⅱ 体育講義	1 1 1	留学の英会話 おもてなしの英会話 情報演習Ⅱ	1 1 1								8
基礎科目	キリスト教音楽入門	1	キリスト教入門	2	キリスト教思想	2								5
	フードリズム学 女性とライフキャリア	2 2												4
学部共通科目	現代社会と女性・家族 現代社会と高齢者	1 1												2
	子ども教育基礎演習 子ども教育フィールド研修 教育原理 教職論 子どもの教育心理学	1 2 2 2				2	教育経営論							10
専門教育科目	幼小共通科目	国語	2				教育の方法と技術	2	教育相談の理論と方法 教育実習事前事後指導 初等教育実習Ⅰa 初等教育実習Ⅰb	2 1 2 2	教育評価	2		13
		保育内容総論 幼児理解の理論と方法 保育原理	2 2 2	保育内容(言葉) 保育内容(人間関係) 保育内容(環境) 子どもの保健Ⅰ 保育実習指導Ⅰ-2	2 2 2 1 1	保育内容(健康) 子どもの保健Ⅱ 子どもの食と栄養 家庭支援論	2 2 2 2	保育課程論 乳児保育 障害児保育 保育相談支援 保育実習指導Ⅱ 保育実習Ⅱ	2 2 2 1 1 2	保育・教職実践演習	2			
	展開科目	保育者論	2	保育者論	2	保育実習Ⅰ-1 児童福祉論 現代社会と福祉Ⅰ 相談援助演習	1 2 2 1	社会的養護内容	1					54
		ピアノ実技	1	音楽Ⅰ	1	音楽Ⅱ 図工Ⅰ 体育Ⅰ	1 1 1	音楽Ⅲ	1	食と健康の教育	2			77
	学科共通科目													8
	小学校科目													0
	特別支援科目													2
	関連科目													0
	専門演習・卒業研究													4
	卒業論文(通年)													8
学際教育科目													0	
計	24	20	24	19	15	16	0	6	124					

(注)長期休業期間に実施される集中科目はC・A・P制の適用外

京都ノートルダム女子大学授業時間割 (現代人間学部)

A	A			F	F				A	
B	B			G	G					
C	C			H	H					
D	D			J	J					
E	E			K	K					
A	A			B	B					
				B						
A				B						
12	9	8	10	15	12	8	6	6	5	
F	F			A	A	B		B		
G	G			B	B					
H	H			C	C					
J	J			D	D					
K	K			E	E					
B	B			A	A					
B										
B				A						
17	13	16	13	18	16	13	13	14	12	

	C	A			C					
	C				C	C				
		C								
	A	C	B	C	A	A	B	A	B	
	A	A			B	B		D	B	D
	C					A				G
					B					
	B				A					
		Z								
	16	17	11	14	13	9	13	15	11	11
		A					A	B	C	C
	B	C					B	A	D	
	c	A		A	B	D	A	B		H
	d	B		B			B	C		
	A	B								
	A									
		B								
	13	15	11	10	6	8	14	12	8	6
	A	F	B	G	C	H	D	I	E	
									C	
	2	3	3	5	1	1	6	4	2	1